林いさお通信

Together !! 共に!!

ブログ：http://pikaichino.exblog.jp/　Tel　049-259-2228

討議資料Ｎｏ．35 小さくても輝く自治体　21 年２月 12 日林いさお後援会

第12回全国小さくても輝く自治体フォーラム開催

歓迎行事の小鹿野町の歌舞伎

第12回全国小さくても輝く自治体フォーラムが、２月７～８日、埼玉県小鹿野町で開催されました。

現在、政府においては道州制のプラン作りと並行して、２０１０年の市町村合併特例法の期限切れを見据えた地方制度改編にむけて着手し始めています。小規模自治体、また合併ではなく単独行政の道を選択した自治体にとっては目を離せない状況にあります。

こうした地方自治の変革期にあって、地方の切なる思いを中央に届け、町村を取り巻く情勢とその行方を考えることを目的に本「フォーラム」は開催されました。

初日の記念講演は、

①「『平成の合併』と「基礎自治体のあり方」

大森東京大学名誉教授

②「地方制度改編のいまと小規模自治体の課題」

名和田法政大学教授

その後、３分科会が開催されました。私は、「地域力を高める」分科会に参加。福島県大玉村長、奈良県山添村議会議員から、合併せずに小さくても、輝いている自治体の事例報告がなされました。当町とは、環境も状況も違いますが、「小さくとも凛として生きる大玉村」「無いものねだりをせずに、あるものを活かす村作りの山添村」の事例は大変参考になりました。

★小鹿野町『寿座』旗揚げ公演★

平均年齢８４歳の『寿座』　迫真の演技

小鹿野町で開催された第12回全国小さくても輝く自治体フォーラム。小鹿野町は花と歌舞伎の町として知られています。歓迎行事で小鹿野歌舞伎が披露されました。今回の歓迎行事に向けて町内の歌舞伎伝承者によって『寿座』が結成、出演者の平均年齢は、84歳。

小鹿野町は高齢者が多くても一人あたりの医療費が県内で最も少ない町です。皆さん年齢を思わせないほどの素晴らしい迫真の演技でした。

演目は「絵本太功記十段目尼ヶ崎閑居之場」（えほんたいこうきじゅうだんめ　あまがさきかんきょのば）

実は、今回が旗揚げと同時に解散公演。１００歳まで頑張るとの声が上がっていました。皆さん本当に元気でした。

★明日をひらく言葉

胸次清快なれば、
則ち人事の百難も亦阻せず

佐藤一斎『言志四録』

心中が爽やかであれば、世の中のさまざまな困難も何も行き詰まることなく処理されていくという意味。神道では「明き清き直き真の心」ともいいます。でも、心の中をいつも爽やかな気持ちで保っていることは難しいですね。明治天皇の御製に「差し昇る　朝日のごとく　さわやかに　もたまほしきは　心なりけり」とあります。